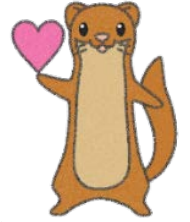




安全・安心のまちづくりの国際認証！ セーフコミュニティ再認証取得に 向けた現地審査を実施します



栄区いたち川マスコット
タッチーくん

栄区は、平成25年10月にWHO（世界保健機関）が推奨する国際認証「セーフコミュニティ」を取得し、区民や関係団体、行政等が職域や分野を越え一体となって安全・安心のまちづくりに取り組んできました。このたび、認証取得から5年の節目を迎えたことから、セーフコミュニティ認証センターの審査員をお招きし、再認証に向けた現地審査を実施しますので、お知らせします。

1 実施概要

- (1) 日程 平成30年6月15日（金）～17日（日）
- (2) スケジュール・会場

	時間	内容	会場
15日	15:00～	開会・区長挨拶	栄区役所 新館4階 8・9号会議室
	15:20～16:20	栄区概要説明	
	16:35～17:35	傷害サーベイランス分科会	
16日	9:00～10:00	こども安全対策分科会	栄区役所 新館4階 8・9号会議室
	10:15～11:15	スポーツ安全対策分科会	
	12:45～13:45	児童虐待予防対策分科会	
	14:00～15:00	交通安全対策分科会	
	15:15～16:15	自殺予防対策分科会	
17日	9:15～11:00	災害安全対策分科会	豊田小学校（栄区長沼町125-4）
	12:45～13:45	高齢者安全対策分科会	栄区役所 新館4階 8・9号会議室
	14:00～15:00	防犯対策分科会	
	15:30～16:30	審査員講評	

※進行状況により、時間は前後する場合があります。

(3) 審査員

デイル・ハンソン/Dale Hanson氏（オーストラリア）

国際セーフコミュニティネットワーク理事長、博士（公衆衛生）ほか

チョ・ジュンピル/趙 竣必氏（韓国）

国際セーフコミュニティネットワーク副理事長、アジョー大学救急医療部教授 ほか

(4) 内容

審査は各対策分科会委員（栄区民または学識者）による日ごろの取組の発表と、審査員による質疑を中心に進行します。また、審査は公開で実施され、どなたでも自由に傍聴できます。

※審査が順調に進んだ場合、最終日の「審査員講評」で再認証の内定が通知される予定です。

2 取材について

6月15日（金）15時までに下記までご連絡のうえ、当日直接会場へお越しください。

お問合せ先

栄区区政推進課長 雨堤 崇 Tel 045-894-8330

<裏面あり>

<参考>

セーフコミュニティとは

セーフコミュニティとは「致命的な事故やけがは、原因を究明することで必ず予防できる」、という基本理念に基づき、地域、行政、関係団体等が一体となって予防活動を展開するまちにあたえられる国際認証のことです。

認証を取得するには

セーフコミュニティ認証センターが示す7つの指標に沿って、書類審査と現地審査が行われます。指標を満たしていると認められると、セーフコミュニティ国際ネットワークの一員となることができます。

《セーフコミュニティ認証取得のための7つの指標》

- ①分野の垣根を超えた協働を基盤とした推進組織を設置する
- ②両性・全年齢、あらゆる環境・状況をカバーする長期プログラムを継続的に実施する
- ③ハイリスクの集団・環境および弱者を対象としたプログラムを実施する
- ④根拠に基づいた取組を実施する
- ⑤外傷が発生する頻度とその原因を記録するプログラムを実施する
- ⑥プログラムの内容・実施行程・影響をアセスメントするための評価基準を設定する
- ⑦国内外のセーフコミュニティネットワークへ継続的に参加する

認証都市について

平成30年2月現在、世界約390都市、国内では14都市が認証されています。栄区は国内で7番目に認証を取得しました。行政区の取得は国内唯一です。

《国内の認証取得都市》

京都府亀岡市、青森県十和田市、神奈川県厚木市、長野県箕輪町、東京都豊島区、大阪府松原市、福岡県久留米市、埼玉県北本市、埼玉県秩父市、鹿児島県鹿児島市、大阪府泉大津市、福島県郡山市

※埼玉県さいたま市が認証に向けて活動中

セーフコミュニティの詳細は、栄区ホームページをご確認ください。
<http://www.city.yokohama.lg.jp/sakae/sidemenu/safecommunity/>